

すぐに使える！  
Google スプレッドシート利用術

# 目次

1. はじめに
2. スプレッドシートの主な機能
3. スプレッドシートの基本機能
4. スプレッドシートの主な機能～表示位置の固定で見やすくする～
5. スプレッドシートの主な機能～データ検索機能を用いて自動でグラフ化～
6. スプレッドシートの主な機能～コメント機能～
7. 応用テクニック

# はじめに

この度は Google スプレッドシートの機能紹介の無料コンテンツをダウンロード下さり誠にありがとうございます。

すでにスプレッドシートは、普段皆様がお使いになっている Microsoft のエクセルととても良く似た表計算ソフトです。大きな違いは、クラウドで共有される事を前提に作られている点で、日々新しい機能が加わったり、改善されたりしています。

より直感的に、より操作性も向上されて作り変わっています。ここで紹介する機能は 2020 年現在で確認した内容でございますが、しばらくすると更新されている可能性がありますことをご了承くださいませ。

このコンテンツでは、スプレッドシートに少し触れたことがある人がより活用できるようにまとめています。

スプレッドシートを便利に活用し今の業務の改善に繋がりますと幸いです。

# スプレッドシートの主な機能

まずはスプレッドシートのメニューを一つずつおさらいしていきましょう。主な機能は次のとおりです。



- ① ワンクリックでファイル名を作成・変更することができます。
- ② クイック印刷することができます。
- ③ 最後に行った変更を、元に戻す・やり直すことができます。
- ④ テキストの特定のセクションから書式をコピーし、それを別のセクションに適用することができます。
- ⑤ 表示形式を通過設定にすることができます。
- ⑥ 表示形式をパーセントに設定することができます。
- ⑦ 小数点以下の桁数を増やす・減らす設定ができます。
- ⑧ 表示形式の詳細設定を変更することができます。
- ⑨ フォントを調整することができます。
- ⑩ フォントサイズを調整することができます。
- ⑪ テキストの書式を設定することができます。
- ⑫ セルの枠線を追加・編集することができます。
- ⑬ セルの融合・解除設定をすることができます。
- ⑭ テキストの表示位置を編集することができます。
- ⑮ リンクの挿入設定をすることができます。
- ⑯ コメントを追加することができます。
- ⑰ グラフを挿入することができます。
- ⑱ フィルタを設定することができます。
- ⑲ 関数を設定することができます。

スプレッドシートで利用できる関数はこちらです。

関数	種類	説明
AVERAGE	統計	データセット内の平均値を返します。テキストは無視されます。
CHOOSE	参照	指数に基づいて値のリストから要素を返します。
COUNT	統計	データセット内の数値の個数を返します。
COUNTIF	統計	範囲内で条件に一致する要素の個数を返します。
DATE	日付	指定した年月日を日付に変換します。
DAY360	日付	1 年を 360 日として、2 つの日付の間の日数を返します。
FIND	テキスト	特定の文字列がテキスト内で最初に現れる位置を返します。
FINDB	テキスト	全角文字を 2 文字として数えて、テキスト内で文字列が最初に見つかった位置を返します。
IF	論理	論理式が TRUE の場合はある値を返し、FALSE の場合は別の値を返します。
INDEX	参照	行と列のオフセットで指定したセルのコンテンツを返します。
INT	数学	ある数値をその数値以下の最も近い整数に切り捨てます。
LOOKUP	参照	行または列でキーを検査し、検索行または検索列と同じ位置にある結果範囲のセルの値を返します。
MATCH	参照	指定した値と一致する範囲内のアイテムの相対的な位置を返します。
MAX	統計	数値のデータセットにおける最大値を返します。
MIN	統計	数値のデータセットにおける最小値を返します。
NOW	日付	現在の日付と時刻を日付値として返します。
ROUND	数学	標準規則に従って、ある数値を指定した小数点以下の桁数に四捨五入します。
SUM	数学	一連の数字またはセルの合計を返します。
SUMIF	数学	範囲内の条件に一致するセルの合計を返します。
TODAY	日付	現在の日付を日付値として返します。
VLOOKUP	参照	垂直方向の検索。範囲の 1 列目で指定したキーを垂直方向に検索し、同じ行内にある指定したセルの値を返します。

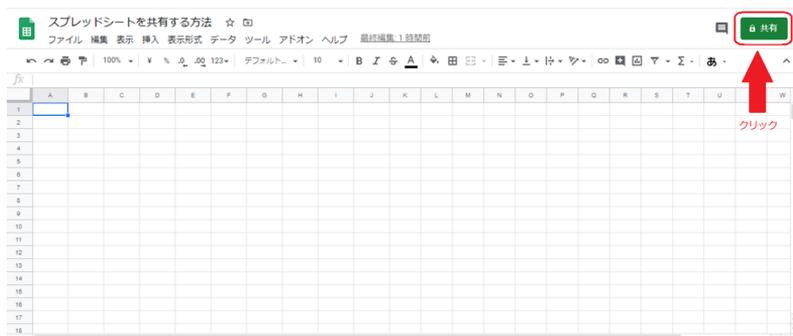
## google アカウントと紐づけて共有する方法

Google アカウントを紐付ける作業が面倒ですが、裏を返せば『特定のアカウントでしかファイルを開覧・編集できない』ということになります。

URL だけで共有するやり方だと、そのスプレッドシートの URL を知っている人が全て閲覧可能になってしまう恐れが…。

重要なファイルのスプレッドシートで共有する場合は、セキュリティ面で考えるとこちらのやり方の方が安心です。

STEP1: 画面右上の [共有] を選択



STEP2: メールアドレスを入力



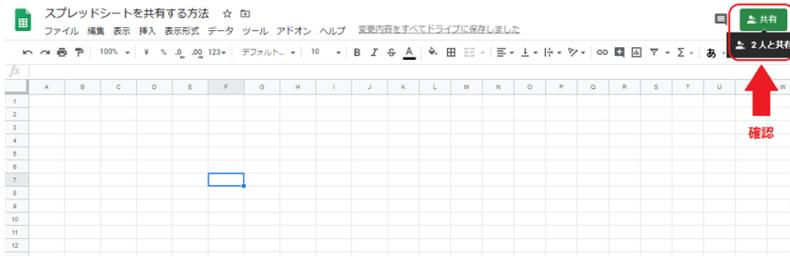
『名前かメールアドレスを入力』と書いてありますが、メールアドレスを入力しましょう。

### STEP3: 権限を選択して完了



### 共有の権限について

1. 編集者：値を変更したり、数式を入力したり、シートを作成したりと色々なことが出来ます
  2. コメント可：閲覧+シートにコメントが残せるくらいです
  3. 閲覧者：シートの閲覧のみ可能です
- 権限が決まったら完了ボタンを押して、共有されたことを確認します。



## Google アカウントと紐付けた人を解除する方法

STEP1：『他〇人のユーザーと共有しています』を選択



STEP2：共有を解除したい人を選択し、変更を保存

### 共有設定

共有リンク（共同編集者のみ利用可）

アクセスできるユーザー



名前がグレーになったのを確認して保存します。



変更を保存を押すと、その Google アカウントはスプレッドシートにアクセスできなくなります。

しかも、共有を解除された旨を伝えるメールも届きません。

なので、いつの間にか共有のスプレッドシートにアクセスできなくなった場合は、まず第一に自分のアカウントが誤って消されていないか確認しましょう。

# スプレッドシートの基本機能

いくつかあるスプレッドシートの機能から、いつか役立つような機能をピックアップします。

## 一度に複数を選択する方法

複数行（列）ある項目を選ぶには、最初から最後までマウスで選択したりキーボードのカーソルを押し続けなくともショートカットキーで一気に選択する方法があります

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J
1	掛け算九九									
2										
3		1	2	3	4	5	6	7	8	9
4										
5										
6										

B3セルをクリック

Windows なら、**Ctrl + Shift + →**

Mac なら、**Command + Shift + →**

をキーボードで押す。

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K
1	掛け算九九										
2											
3		1	2	3	4	5	6	7	8	9	
4											
5											
6											

入力が連続している範囲の選択ができる。

※ここでは、B3セルからJ3セルまでが選択される。

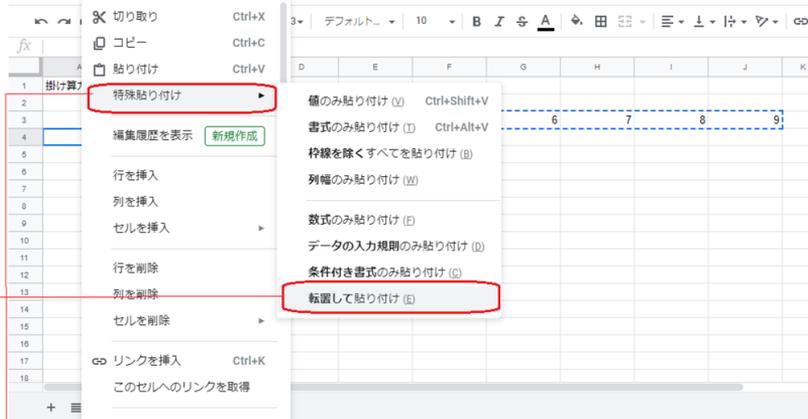
Windows なら、**Ctrl + C**

Mac なら、**Command + C**

をキーボードで押す。

## 縦と横を組み替えて貼り付ける方法

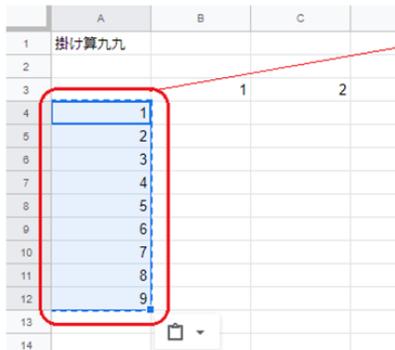
例えば上図の様に横一列でコピーし、置換して貼り付けをクリックすることで縦に置換して貼り付けられます。



A4セルをクリック

A4セルで右クリック

特殊貼り付け>転置して貼り付け をクリック



コピーした範囲の行と列が  
入れ替わって（転置して）  
貼り付けられる。

# スプレッドシートの主な機能 ～表示位置の固定で見やすくする～

## 表示位置の固定で見やすく

スプレッドシートでデータを右や下にスクロールした場合、データの内容が見えなくなり、その行や列に入力されていないものがなんだったのかわからなくなってしまうことがあります。表の見出しの行を固定して下にスクロールしてもデータの内容をわかりやすくしましょう。

はじめてのスプレッドシート2020 ☆ 田

ファイル 編集 表示 挿入 表示形式 データ ツール アドオン ヘルプ 変更内容をすべて

固定

行なし  
1行  
2行  
現在の行 (3) まで

列なし  
1列  
2列  
現在の列 (A) まで

No	日付	商	販売台数	担当者
1	1日	イ	250	担当者D
2	2日	ハ	300	担当者D
3	3日	キ	250	担当者E
4	4日	ハ	300	担当者F
5	5日	イ	250	担当者A
6	6日	イ	300	担当者B
7	7日	マ	250	担当者C
8	8日	ハ	750	担当者A
9	9日	イ	900	担当者D
10	10日	バナナスムージー	2000	担当者D
11	11日	バナナスムージー	250	担当者E
12	12日	キウイスムージー	600	担当者F
13	13日	バナナスムージー	1000	担当者C

No

表の見出しの行にあるセルをクリック

「表示」をクリック

「固定」をクリック

「現在の行まで」をクリック

	A	B	C	D	E	F	G
1	スムージー売上管理表						
2							
3	No	日付	商品名	単価	販売数	売上合計	販売台頭社
14	11		バナナスムージー	250	1	250	担当者E
15	12		キウイスムージー	300	2	600	担当者F
16	13		バナナスムージー	250	4	1000	担当者C
17	14		マンゴースムージー	300	5	1500	担当者A
18	15		ブルーベリースムージー	350	2	700	担当者C
19	16		マンゴースムージー	350	1	350	担当者D
20	17		バナナスムージー	250	1	250	担当者F
21	18		バナナスムージー	250	1	250	担当者A
22	19		マンゴースムージー	350	3	1050	担当者B
23	20		キウイスムージー	300	1	300	担当者C
24	21		キウイスムージー	300	2	600	担当者C
25	22		キウイスムージー	300	5	1500	担当者F
26	23		マンゴースムージー	350	4	1400	担当者D
27	24		ブルーベリースムージー	350	2	700	担当者R

表の下のほうまでスクロールしても、見出し行が固定されて表示されている

行の固定を解除したい場合は、

表示>固定>行なし をクリック

画面左上にあるA列、1行目の上の部分の、太くなっているグレーの線を上下、左右にドラッグアンドドロップすることで、固定行や固定列の位置を変更することもできます。

スプレッドシートは共同編集することができ、このように表示の変更や操作性を向上するために行った書式や見出しの固定などの設定を行ったものにより、共同編集者全員の操作性を向上させることができます。

# スプレッドシートの主な機能

## ～データ検索機能を用いて自動でグラフ化～

データの見出し行や、入力データを表にして用意することでデータ探索という便利な機能を活用することができます。右下のところにデータの探索というものがあります。データ探索機能を使うと、入力したデータセットでどのようなグラフを表示すると効果的に分析できるのか、というのを Google の人工知能が自動でアシストしてくれますので、ぜひ活用してみてください。

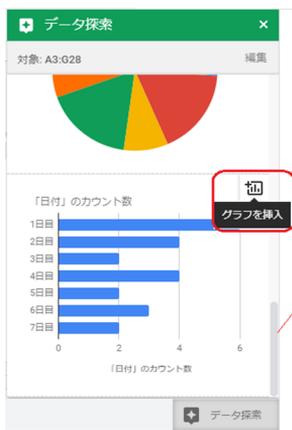
The screenshot shows a Google Sheets spreadsheet with a table of sales data. The table has columns for 'No', '日付', '商品名', '単価', '販売数', '売上合計', and '販売店舗'. The '販売店舗' column contains values like '店舗A', '店舗B', etc. A red box highlights the table area. To the right, the 'データ探索' (Data Explorer) sidebar is open, showing a list of summary statistics for the selected data range (A3:G28), including SUM, AVERAGE, MIN, MAX, and COUNTA. Below the statistics, there are options for chart styles and a 'ピボットテーブル' (Pivot Table) option. A red box highlights the 'データ探索' button at the bottom of the sidebar.

No	日付	商品名	単価	販売数	売上合計	販売店舗
1		イチゴスムージー	300	4	1200	店舗B
2		バナナスムージー	250	4	1000	店舗F
3		キウイスムージー	250	2	600	店舗A
4		バナナスムージー	250	2	500	店舗A
5		イチゴスムージー	300	2	600	店舗B
6		イチゴスムージー	300	1	300	店舗C
7		マンゴースムージー	350	6	2100	店舗A
8		バナナスムージー	250	3	750	店舗D
9		イチゴスムージー	300	3	900	店舗D
10		バナナスムージー	250	8	2000	店舗D
11		バナナスムージー	250	1	250	店舗E
12		キウイスムージー	300	2	600	店舗F
13		バナナスムージー	250	4	1000	店舗C
14		マンゴースムージー	300	5	1500	店舗A
15		マンゴースムージー	350	3	1050	店舗C

表の中のセルをどこでもいので  
クリック  
Windows なら **Ctrl + A**  
Mac なら **Command + A**

データ探索をクリック

入力されたデータの内容によって、  
分析に効果的なグラフが  
たくさん表示される



表示させたいグラフにカーソルを合わせて、「グラフを挿入」ボタンをクリック

データ探索をスクロールすると、たくさんのグラフが表示される



シートの中にグラフが追加される

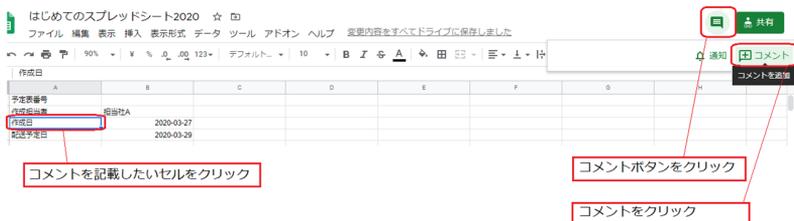
グラフの上でドラッグアンドドロップをすると、グラフの配置を移動することができます。

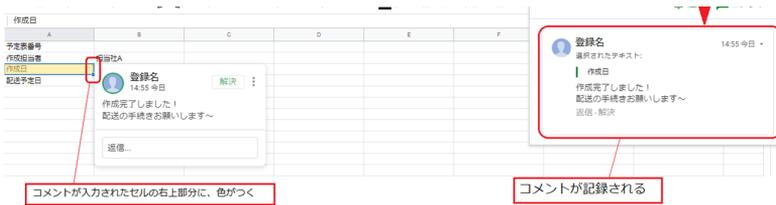
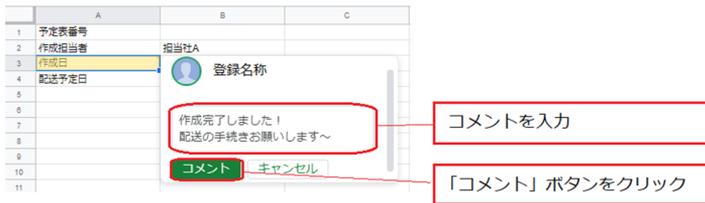
# スプレッドシートの主な機能 ～コメント機能～



「コメント履歴を開く」ボタンをクリックすることで  
スプレッドシート内に記載されたコメントを  
表示することができます

コメントは、スプレッドシートのセルに対して記載することができます。  
「このセルのところを、こんな感じで編集してください」  
など「このように編集しました！」などの記録をコメントで残せます。





# 応用テクニック

## IMPORTRANGE：別のスプレッドシートから値を参照

docs.google.com/spreadsheets/d/1QcT01yocxwjHEHm6Q\_qzloyuW3yDMGetljsvu8lIQRI/edit#gid=0

はじめてのスプレッドシート2020

読み込みたいスプレッドシートの  
スプレッドシートキー

読み込みをすべてドライブに保存しませ

=IMPORTRANGE("1QcT01yocxwjHEHm6Q\_qzloyuW3yDMGetljsvu8lIQRI/edit#gid=0","シート1!A3:G28")

シート名 範囲指定

No	日付	商品名
1	1日	イチゴスム
2	1日	バナナスム
3	2日	キウイスム
4	1日	バナナスム
5	1日	イチゴスム
6	1日	イチゴスム
7	2日	マンゴースム
8	1日	バナナスム
9	2日	イチゴスム

=IMPORTRANGE("1QcT01yocxwjHEHm6Q\_qzloyuW3yDMGetljsvu8lIQRI/edit#gid=0","シート1!A3:G28")

No	日付	商品名	単価	販売数	売上合計	販売台数
1	1日	イチゴスム	300	4	1200	担当者B
2	1日	バナナスム	250	4	1000	担当者F
3	2日	キウイスム	300	2	600	担当者A
4	1日	バナナスム	250	2	500	担当者A
5	1日	イチゴスム	300	2	600	担当者B
6	1日	イチゴスム	300	1	300	担当者C
7	2日	マンゴースム	350	6	2100	担当者A
8	1日	バナナスム	250	3	750	担当者D
9	2日	イチゴスム	300	3	900	担当者D
10	3日	バナナスム	250	8	2000	担当者D
11	2日	バナナスム	250	1	250	担当者E

### 構文

=IMPORTRANGE(" スプレッドシートキー "," 範囲指定した文字列 ")

例：IMPORTRANGE("1-qd48UQf8EJMnEFELTCxZJ5KoTplq-BqeBwJLXBto"," 挿入される元データ !A1:J30")

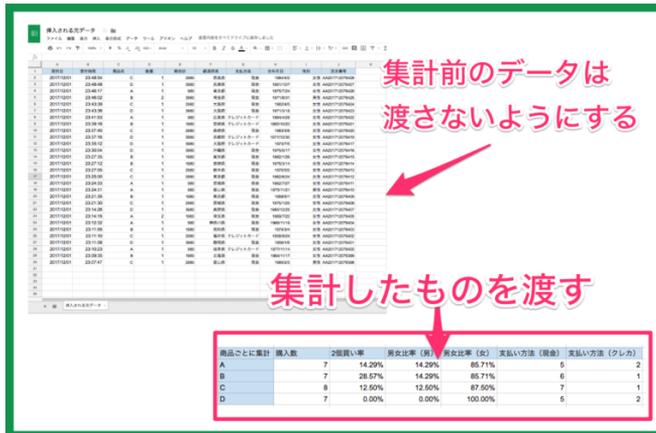
こちらの関数です。

Excel と違って、別のスプレッドシートの値をリアルタイムで引っ張ってこれるのは、とても便利です。

## 応用：データベースのように使う

通常スプレッドシートには、200万セルしか文字を入力できませんが、IMPORTRANGEを使えばその制約を無理矢理解除することができます。

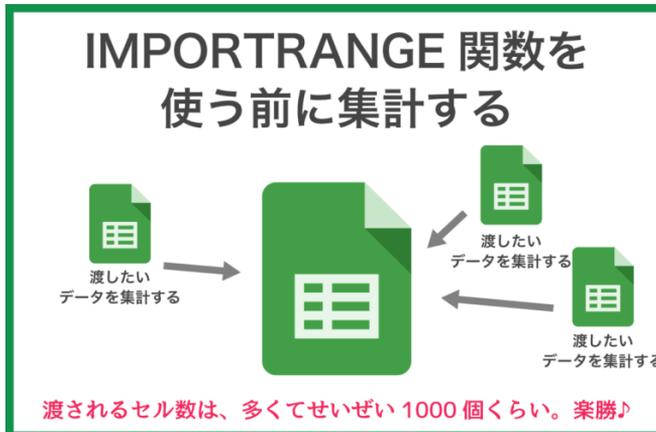
IMPORTRANGE関数を使う前に集計用のシートを別で作って、集計されたデータだけを渡すという方法です。



The screenshot shows a spreadsheet with a large table of data. A red arrow points to the data with the text "集計前のデータは渡さないようにする" (Do not pass data before summarization). Another red arrow points to a summary table at the bottom with the text "集計したものを渡す" (Pass the summarized data). The summary table is as follows:

商品ごとに集計	購入数	2回買い率	男女比率 (男)	男女比率 (女)	支払い方法 (現金)	支払い方法 (クレカ)
A	7	14.29%	14.29%	85.71%	5	2
B	7	28.57%	14.29%	85.71%	6	1
C	8	12.50%	12.50%	87.50%	7	1
D	7	0.00%	0.00%	100.00%	5	2

## IMPORTRANGE関数を使う前に集計する



The diagram shows a central green spreadsheet icon with a white grid. Three smaller green spreadsheet icons with white grids are positioned around it. Arrows point from the smaller icons to the central one. The top-left icon is labeled "渡したいデータを集計する" (Summarize the data I want to pass). The top-right icon is labeled "渡したいデータを集計する" (Summarize the data I want to pass). The bottom-right icon is labeled "渡したいデータを集計する" (Summarize the data I want to pass). Below the diagram, the text reads "渡されるセル数は、多くてせいぜい1000個くらい。楽勝!" (The number of cells passed is at most about 1000. A breeze!).

つまり、データの集合がたとえ200万セル以上であっても、IMPORTRANGEしまくれば、ほぼ無限にスプレッドシートだけでデータ集計をし続けることができるという訳です。

## ARRAYFORMULA：複数セルへ関数を一気に反映

	A	B	C	D	E
1					
2		データ	数式		
3		2020/05/01	=ArrayFormula(text(B3:B12,"ddd"))		
4		2020/05/04			
5		2020/05/05			
6		2020/05/06			
7		2020/05/07			
8		2020/05/08			
9		2020/05/11			
10		2020/05/12			
11		2020/05/13			
12		2020/05/14			
13					

	A	B	C	D	E
1					
2		データ	数式		
3		2020/05/01	金		
4		2020/05/04	月		
5		2020/05/05	火		
6		2020/05/06	水		
7		2020/05/07	木		
8		2020/05/08	金		
9		2020/05/11	月		
10		2020/05/12	火		
11		2020/05/13	水		
12		2020/05/14	木		
13					

### 構文

=ARRAYFORMULA(配列数式または、非配列関数で配列を使用)

例：ARRAYFORMULA(TEXT(B3:B12,"ddd"))

ARRAYFORMULA 関数には、専用のショートカットキーがある  
なんと入力補完用のショートカットキーが用意されています。

セルに『=』を入力して、以下のショートカットキーを試してみてください。

ショートカットキー

Mac：Command+Shift+Enter

Windows：Ctrl+Shift+Enter

## UNIQUE：参照範囲をリアルタイムで重複削除

fx =unique(A2:B13)

	A	B	C	D	E
1					
2	商品名	単価		=unique(A2:B13)	
3	イチゴスムージ	300			
4	バナナスムージ	250			
5	キウイスムージ	300			
6	バナナスムージ	250			
7	イチゴスムージ	300			
8	イチゴスムージ	300			
9	マンゴースムージ	350			
10	バナナスムージ	250			
11	イチゴスムージ	300			
12	バナナスムージ	250			
13	バナナスムージ	250			
14					
15					

fx =unique(A2:B13)

	A	B	C	D	E
1					
2	商品名	単価		商品名	単価
3	イチゴスムージ	300		イチゴスムージ	300
4	バナナスムージ	250		バナナスムージ	250
5	キウイスムージ	300		キウイスムージ	300
6	バナナスムージ	250		マンゴースムージ	350
7	イチゴスムージ	300			
8	イチゴスムージ	300			
9	マンゴースムージ	350			
10	バナナスムージ	250			
11	イチゴスムージ	300			
12	バナナスムージ	250			
13	バナナスムージ	250			
14					

### 構文

=UNIQUE(範囲)

例：UNIQUE(A2:B21)

重複する行を破棄して、指定したソース範囲内の一意の行を返します。行はソース範囲内の先頭から順に返されます。

## FILTER：参照範囲をリアルタイムでフィルタリング

The image shows two screenshots of an Excel spreadsheet demonstrating the FILTER function. The formula bar in both shows: `=filter(A3:C27,A3:A27="バナナスムージー",C3:C27>2)`.

The first screenshot shows the full data range (A3:C27) with the formula applied. The second screenshot shows the filtered results, where only rows with sales volume greater than 2 for the product 'バナナスムージー' are displayed.

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2	商品名	単価	販売数					
3	イチゴスムージー	300	3					
4	バナナスムージー	250	1					
5	キウイスムージー	300	4					
6	バナナスムージー	250	2					
7	イチゴスムージー	300	2					
8	イチゴスムージー	300	2					
9	マンゴースムージー	350	1					
10	バナナスムージー	250	1					
11	イチゴスムージー	300	3					
12	バナナスムージー	250	4					
13	バナナスムージー	250	6					
14	キウイスムージー	300	2					
15	バナナスムージー	250	4					
16	マンゴースムージー	350	5					
17	ブルーベリースムージー	350	2					
18	マンゴースムージー	350	6					
19	バナナスムージー	250	1					

	A	B	C	D	E	F	G	H
1								
2	商品名	単価	販売数					
3	イチゴスムージー	300	3					
4	バナナスムージー	250	1		バナナスムージー	250	4	
5	キウイスムージー	300	4		バナナスムージー	250	6	
6	バナナスムージー	250	2		バナナスムージー	250	4	
7	イチゴスムージー	300	2		バナナスムージー	250	3	
8	イチゴスムージー	300	2					
9	マンゴースムージー	350	1					
10	バナナスムージー	250	1					
11	イチゴスムージー	300	3					
12	バナナスムージー	250	4					
13	バナナスムージー	250	6					
14	キウイスムージー	300	2					
15	バナナスムージー	250	4					
16	マンゴースムージー	350	5					
17	ブルーベリースムージー	350	2					
18	マンゴースムージー	350	6					

### 構文

=FILTER( 範囲, 条件 1, [ 条件 2, ...])

例：FILTER(A3:C21,B3:B21="A",C3:C21>1)

ソース範囲をフィルタ処理して、指定した条件を満たす行または列のみを返します。

FILTER 関数を使うメリットは、元データを変更しないフィルタリングなので、データの破損の恐れがないことです。

## SORT：選択範囲をリアルタイムで並べ替え

fx =sort(A3:C20,A3:A20,1)

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	販売数	商品名	単価		E3		
3	3	イチゴスムージ	300		=sort(A3:C20,A3:A20,1)		
4	1	バナナスムージ	250				
5	4	キウイスムージ	300				
6	2	バナナスムージ	250				
7	2	イチゴスムージ	300				
8	2	イチゴスムージ	300				
9	1	マンゴースムージ	350				
10	1	バナナスムージ	250				
11	3	イチゴスムージ	300				
12	4	バナナスムージ	250				
13	6	バナナスムージ	250				
14	2	キウイスムージ	300				
15	4	バナナスムージ	250				
16	5	マンゴースムージ	350				
17	2	ブルーベリースムージ	350				
18	6	マンゴースムージ	350				
19	1	バナナスムージ	250				
20	3	バナナスムージ	250				

fx =sort(A3:C20,A3:A20,1)

	A	B	C	D	E	F	G
1							
2	販売数	商品名	単価				
3	3	イチゴスムージ	300		1	バナナスムージ	250
4	1	バナナスムージ	250		1	マンゴースムージ	350
5	4	キウイスムージ	300		1	バナナスムージ	250
6	2	バナナスムージ	250		1	バナナスムージ	250
7	2	イチゴスムージ	300		2	バナナスムージ	250
8	2	イチゴスムージ	300		2	イチゴスムージ	300
9	1	マンゴースムージ	350		2	イチゴスムージ	300
10	1	バナナスムージ	250		2	キウイスムージ	300
11	3	イチゴスムージ	300		2	ブルーベリースムージ	350
12	4	バナナスムージ	250		3	イチゴスムージ	300
13	6	バナナスムージ	250		3	イチゴスムージ	300
14	2	キウイスムージ	300		3	バナナスムージ	250
15	4	バナナスムージ	250		4	キウイスムージ	300
16	5	マンゴースムージ	350		4	バナナスムージ	250
17	2	ブルーベリースムージ	350		4	バナナスムージ	250
18	6	マンゴースムージ	350		5	マンゴースムージ	350
19	1	バナナスムージ	250		6	バナナスムージ	250
20	3	バナナスムージ	250		6	マンゴースムージ	350

### 構文

=SORT(範囲, 並べ替える列, 昇順, [並べ替える列 2, ...], [昇順 2, ...])

例：SORT(A3:B6,A3:A6,1)

指定した配列または範囲の行を、1列または複数の列の値に従って並べ替えます。

こちらも FLITER 関数と同様に、元のデータを変更しないソートなので、データの破損の恐れがないのがいいですね。

## GOOGLETRANSLATE：テキストを Google 翻訳

	A	B	C	D	E	F
1	日本語	英語	フランス語	中国語	韓国語	ドイツ語
2	犬	dog	dog	狗	=googletranslate(A2,"ja","ko")	
3	猫					
4	アカウント					
5	グラフ					
6	キャンペーン					
7	警察					
8	こんにちは					
9	今日は晴れです					
10						

### 構文

=GOOGLETRANSLATE(テキスト, [ソース言語], [ターゲット言語])

例：GOOGLETRANSLATE(A2,"en","ja")

テキストをソース言語からターゲット言語に翻訳します。

Google 翻訳では、複数まとめて翻訳できないので、スプレッドシートで一気に翻訳できるのはありがたいですね。

	A	B	C	D	E	F
1	日本語	英語	フランス語	中国語	韓国語	ドイツ語
2	犬	dog	dog	狗	개	Hund
3	猫	Cat	Cat	猫	고양이	Katze
4	アカウント	account	account	帐户	계정	Konto
5	グラフ	Graph	Graph	图形	그래프	Graph
6	キャンペーン	campaign	campaign	运动	캠페인	Kampagne
7	警察	police	police	警察	경찰	Polizei
8	こんにちは	Hello	Hello	你好	안녕하세요	Hallo zusammen
9	今日は晴れです	It's sunny today	It's sunny today	今天星期天	오늘은 맑음입니다	Es ist sonnig heute
10						

日本語 ja

英語 en

中国語 zh

韓国語 ko

ドイツ語 de

フランス語 fr

イタリア語 it

